

つじそうやま
辻惣山遺跡(本発掘調査B)

所在地 稲沢市平野町地内
(北緯35度14分26秒 東経136度47分14秒)

調査理由 稲沢緑風館高等学校校舎建築工事

調査期間 令和6年11月～令和7年2月

調査面積 1,120㎡

担当者 木村有作・木川正夫・武部真木・永井宏幸



調査の経過 調査は、愛知県教育委員会財務施設課による稲沢緑風館高等学校校舎建築工事に伴う事前調査として、愛知県県民文化局より委託を受け、令和6年11月から令和7年2月に実施した。調査面積は1,120㎡である。

立地と環境 遺跡は稲沢市内の中央に流れる三宅川が大きく蛇行する右岸の自然堤防上に立地する。標高は現況6.5m前後である。

調査の概要 24A区は東西方向に長い調査区で、主な遺構としては調査区西側に南北方向の中世の溝037SDとこの溝から東へ10mほど離れて方形土坑を3基確認した。調査区西側には古代の竪穴建物020SI・023SIを2棟確認した。24B区は24A区中央北側に位置する調査区で、東西方向の古代と中世の溝などを確認した。出土遺物は、弥生時代中期後半の土器片、8世紀後半を中心とする須恵器・土師器・瓦など、12世紀末から13世紀初頭を中心とする山茶碗・小皿などがある。
(永井宏幸)



24Ab・B区全景(西から)



24Aa区中世溝037SD(南から)



24Aa区古代竪穴建物020SI・023SI(東から)



24B区全景(東から)